

大口よしのり通信

大口よしのりホームページhttp://www.oguchi.gr.jp/

発行:大口よしのり後援会

■国会事務所

東京都千代田区永田町2-1-2

衆議院第2議員会館308号

TEL03-3508-7017

■静岡事務所

静岡県静岡市葵区伝馬町23-6

TEL054-273-8739

小台風9号被害
小山町に局地激甚指定



豪雨禍の現地を視察する大口善徳衆議院議員(左)、蓮池章平県議(中央)、池谷洋子町議(右)=9月12日 静岡県小山町

政府は10月22日、9月8日に襲った台風9号による記録的な豪雨で甚大な被害が発生した静岡県小山町について、局地激甚災害に指定することを閣議決定しました。

これは、公明党静岡県本部の大口善徳災害対策本部長(衆議院議員)、蓮池県議会議員、池谷町議会議員らが9月12日、家屋倒壊や大規模な土砂被害を受けた小山町を視察し、9月16日に防災担当大臣に大口本部長、浜田参院議員、蓮池県議、池谷町議らと現地の被害状況を説明。「台風シーズンを前に住民は二次災害の危険にさらされている」と早期復旧・復興の必要性を訴え、局地激甚災害の指定基準見直しを急ぎ、小山町の豪雨被害を早期指定するよう求めるとともに、特別交付税の要請をしたものです。

【現役職】
《衆議院》法務委員会理事、消費者問題特別委員会理事
《党内役職》中央幹事、国会对策委員長代理、静岡県本部代表、東海道方面協議会議長、東海方面副議長、政調法務部会長、財政・金融副部会長、内閣副部会長、経済産業副部会長、環境副部会長、憲法調査会事務局長、政治改革本部副本部長、行政改革推進本部事務局長、総合海洋政策プロジェクトチーム座長、マンション問題議員懇話会幹事長、雨水利用及び雨水貯留浸透施設の推進に関するプロジェクトチーム副座長

鳩山前首相は事実を明らかにせよ！

帳簿コピー保管報道 党代議士会で大口議員

大口議員が予算委(2.12)で引き出した答弁との矛盾を徹底追及

公明党の漆原国会対策委員長と大口善徳同委員長代理は19日、党代議士会であいさつし、鳩山由紀夫前首相の資金管理団体の献金偽装事件をめぐって、鳩山氏が国会で「コピーはない」と繰り返し答弁していた会計帳簿などのコピーを、実際には鳩山氏側が保管していたとの朝日新聞の報道について、改めて国会で追及する考えを示しました。

さらに、弁護士でもある大口衆議院議員は「弁護士の常識から言えば、弁護活動の一環として検察庁に提出した資料は必ずコピーをしている」と指摘し、「当初から鳩山事務所にあったということになれば、とんでもないことだ」と批判。「もし(報道が)事実であれば、徹底してさらに追及していくかなければならない」と強調しました。

2010年10月19日(火) 朝日新聞 朝刊 39面

■鳩山前首相の献金書類に関する国会

答弁(要旨)

〈1月26日の参院予算委〉

Q: 複写があるのか、ないのか？

鳩山氏: 複写はないものと理解している。

Q: 検察で複写して、委員会に提出してください。

鳩山氏: すべての書類を(元秘書の)公判が終わった段階で返還を求めたい。

そのときに国民のみなさま方にも、弁護士と相談した上で判断し、提示したい。

〈2月12日の衆院予算委〉

Q: 検察庁に任意提出する資料はコピーするものだ。東京地検に提出した資料のコピーがあるか否か。弁護士に確認したか？

鳩山氏: 資料が多かったからかもしれないが、コピーはしなかったということだ。確かめた。

Q: 弁護士の常識では考えられない。コピーがないなら(刑事訴訟法で定められている)仮還付をしてください。それが説明責任だ。

鳩山氏: 資料が過去数年にわたり、時間的制約もあり、ほとんどの資料をそのまま任意提出しており、コピーはどちらなかった。(元秘書の)公判終了と資料の返還の二つがそろわないと分析、検証もできない。

複数の関係者によると、鳩山氏側がコピーを持っていたのは「友愛政経懇話会」の会

計帳簿や関係資料。東京地検特捜部が政治資金規正法違反(虚偽記載など)の容疑で捜

査していた昨秋、団体側から2008年までの5年分が注意提出されていた。この際、任

鳩山由紀夫前首相が、自身の資金管理団体の偽装献金事件¹をめぐって「東京地検に任意提出しており、コピーはない」と繰り返し国会答弁していた会計帳簿などのコピーを、鳩山氏側が実際は保管していたことが関係者の話でわかった。首相在任中の鳩山氏は、コピーがないことを、自身への疑惑の説明を避ける理由にしており、野党側は「虚偽答弁」と批判。開会中の臨時国会で議論を呼びそうだ。

関係者ら存在証言 事務所は否定

九鳥山前首相側に「コピー」

偽装献金巡る帳簿「ない」と答弁

鳩山氏の弁護側が、通帳や帳簿などの書類をコピーし、鳩山氏への捜査に備えて保管していたという。

一方、巨額資金の使途について国会で追及された鳩山氏は、手元に会計資料がないことを理由に説明を回避。今年1月の衆院本会議で「公判終了後、書類が返還された後に検証する」などと答弁。弁護士出身の野党議員は「弁護活動に帳簿類のコピーは不可欠なはず」などとコピーの有無を追及した。

今年1月の参院予算委員会では自民党的森雅子氏が「当然、複写をしていると思われる」と質問。鳩山氏は「複写はないものと理解している」と答弁した。2月の衆院予算委員会では、公明党的大口善徳氏の同様の質問に「コピーはしなかった。それは(弁護士を)確かめた」と、重ねて

否定していた。

朝日新聞の取材に、鳩山氏の事務所は「誤解がある」として改めてコピーの存在を否定。さらに「検察の(不起訴)処分、検察審査会による

審査、(元秘書の)裁判とも終了し、法的に決着している。政治的責任についても総理辞任をもつてけじめをつけた」と答えている。

これに対し、大口氏は「鳩

山氏は虚偽答弁で説明責任を逃れまま、今も活発に議員活動をしている。菅直人首相も「総理辞任で政治的責任を取った」と、鳩山氏をかばう答弁をしている。民主党全体でこの問題をないがしろにしている」と批判している。

■質問力チェック！

2010年10月23日(土) 朝日新聞 朝刊 4面

受賞内容	質問者(敬称略)	寸評(星五つが満点)
	辻 恵 (民主)	検察捜査に疑問を投げかけたが、何しろ質問が長い。冒頭から郵便不正事件の説明に5分。法相が参院本会議に出席して不在で、官僚ばかりが答弁したのは不運だった。次回に期待。(★★★)
	階 猛 (民主)	弁護士らしく六法全書を手に「伝聞証拠は禁止の原則がある。供述調書に偏った検査は冤罪をうむ」と検察を批判したのは説得力があった。法相には「最高検で検証中」とかわされた。(★★★)
良 優良賞	平沢 勝栄 (自民)	「検察に判断させるのはおかしい」と中国人船長釈放の理由を重ねて追及。法相の答弁は「総合的に判断」「法と証拠に基づく判断」とぶれた。パフォーマンスに走りがちるのが難点。(★★★★)
もう一歩賞	稲田 朋美 (自民)	岡崎国家公安委員長を呼び、韓国の反日デモに参加した経緯を持ち時間35分全部を使ってただしたが、「考え方の相違」ですれ違い。口調もとげとげしかった。次回は冷静な追及を。(★)
	柴山 昌彦 (自民)	司法修習生への給費制維持で民主党と政府の不一致ぶりをあぶりだした。ただ、新聞記事を元にした質問が多く、矢も放たない。法相が次第に元気になった。(★★★)
良 優良賞	大口 善徳 (公明)	捜査当局の取り調べの可視化の条件を法相と国家公安委員長に聞き、食い違うと「閣内不一致」と攻めた。やりとりはおもしろかったが、踏み込んだ答弁は引き出せなかった。(★★★★)
	城内 実 (国益と国民の生活を守る会)	小会派の悲哀。与えられた持ち時間はわずか10分。尖閣問題で「検察主導内閣か。箇口令(かんこうれい)を敷いても誰かが話し始める」と政府の対応を批判したが、物足りなさが残った。(★★)

受賞者コメント

優良賞の自民党・平沢勝栄氏 船長釈放は政治判断だ。なのにそうだと言えないから法相の答弁が矛盾する。委員長がちゃんと仕切って答えさせなきゃ。議事録を精査して追及を続けるよ。

優良賞の公明党・大口善徳氏 法相はあらゆる所管事項に問題意識がなさすぎる。「検証中」とすぐ逃げるから、官僚もまともに答えない。政治主導と言いつながら官僚が喜ぶ大臣では困る。

国会論戦の花形と言われる予算委員会に比べ、専門に分かれた常任委員会はテレビ中継されることはない。国民の目に触れる機会は少なく、質問者も答弁者も気がゆるみがちだ。そこで今度は22日の衆院法務委員会を法務省担当の

松村愛記者がウオッチし、中国漁船衝突事件や大阪地検特捜部の証拠改ざん事件を巡る質疑を探点した。
「質問力」に最も優れた人を「優秀賞」、次点を「優良賞」、物足りない人を「もう一歩賞」としたが、今回は優秀賞は該当なしとした。衆参両院ともホームページで各委員会の質疑を中継しており、録画でも見られる。



花形でないからこそ

2010年10月23日(土) 静岡新聞 朝刊 3面

取り調べの「可視化」必要！

衆院法務委員会で大口議員 検察の信頼回復訴え

取り調べ可視化
閣僚認識に濃淡
大口氏質問で浮かぶ

衆院法務委員会で22

日、取り調べの可視化に
関する関係閣僚の認識
に微妙な濃淡がある

裁判員裁判での自白の任
意性の判断を察するに
こと」を挙げたのにに対し、
警察を所管する岡崎トミ

子国家公安委員長は「可
視化の目的そのものにつ
いても総合的に検討して
いる」と答えるなどござ
った。

いずれも公明党の大
口善徳氏(比例東海)へ
の答弁。両大臣は取り
調べ全過程での録音・
録画による可視化につ
いても答弁のトーンが
異なったが、柳田法相は
「今後、擦り合わせを行
う」とし、理解を求め
た。

可視化関連で別の議員
が柳田法相を指名して質
問したのに對し、法相が
「副大臣が答弁します」
とかわしたことについて、
大口氏が質問で「大
阪地検問題で検査の在り
方が問われている時に
とんでもない」と迫る場
面もあった。
同日は、無所属の城
内美氏(静岡7区)も質
問に立ち、尖閣諸島問
題の対応について柳田
法相の姿勢をただし



静岡市葵・駿河区民総合体育大会

第8回静岡市葵・駿河区民総合体育大会(西ヶ谷陸上競技場)に出席した大口善徳衆議院議員は開会式終了後、各学区の選手・応援団が待機するスタンドへ移動し、参加された地域代表の皆様を激励してまわり、親しく懇談しました。

これには高田好浩、前林孝一良両静岡県議会議員ほか地元市議会議員も参加しました。

2010年10月24日



公明党静岡県本部大会

公明党静岡県本部大会で挨拶に立った大口善徳静岡県本部代表(衆議院議員)は、立党の精神をさらに深く胸に刻み、党員・支持者の皆様のご期待にお応えすべく、力の限り闘っていくとの決意を表明しました。さらに、わが国の景気経済を立て直し、社会保障を充実させ、誰もが安心して暮らせる社会の実現を目指すと挨拶しました。

大会では井上義久幹事長、浜田昌良静岡県本部顧問(参議院議員)も挨拶をしました。

2010年10月9日



静岡市内の敬老会に参加

静岡市賤機(しづはた)都市山村交流センター「安倍ごころ」で開催された賤機中学区連合町内会主催の敬老会に出席し挨拶に立った大口善徳衆議院議員は、一人暮らしの高齢者が増える中、皆様が健康で安心して暮らせるよう社会保障の充実に尽力していくとの決意を述べるとともに、いろいろな機会を通じて「若い世代に親孝行の大切さを訴えています」と挨拶しました。

式典終了後、各テーブルを挨拶でまわり参加された皆様からいろいろなご意見をお伺いました。

2010年9月20日